

---

# 運命のダブルリーチ

サダコレ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

運命のダブルリーチ

### 【NZコード】

N0072D

### 【作者名】

サダコレ

### 【あらすじ】

麻雀のおバカな話しながら、麻雀知らない人はわかんないかも。内容おかしいかもしだいけど、まあそこはギャグだからね…

(前書き)

これは現実にあつた話しなのを

## 運命のダブルリーチ

それは南四局、オーラスを迎えた大事な一戦だつた。

僕の持ち点は2500点。これをひっくり返すには、親の連荘しか道は残されていない。

僕は手に魂を込めてサイコロを振つた。牌を取り終えてすぐに異変に気づく！！

（こ、これはダブルリーチ！？）

願つてもない牌配である。

（神に願いがつづじたか！？よし、この東を切つてダブルリーチだ！！）

僕は少々興奮気味にリーチの声を発した！！

「リーチ！！」

「お、お、まじかよー！」

他の三人がざわついている！

僕は心の中で当たりの牌を連呼していた。当たり牌は『発』と『東』のシャボ待ちだ！！

（発と東、発と東だ！発と東、発と…あれ？？？）

そう天和だつたのだ！…いやいや、そんなはずはない！

俺みたいな体臭がものすごいダメ男が、天和なんかあがれるはずがないんだ！

すると後ろでこの対局を見ていた店のマスターが、僕に「つづぶや

いた。

「ねえ、はじめの一歩何巻まで集めてる?」

関係ねえ!!マスター関係ねえよ!!

そう思いながらも麻雀は進む。

だが俺は自分の田をも疑つよつた光景を田にする!  
リーチかけてねえー

そう、リーチと叫んだくせに、牌を横にしていなかつたのだ!  
この勝負に負ければ、俺は罰ゲームで、お尻の穴を縫わなければ  
ならない!それだけは避けねば!!

だが次の牌をツモリ、状況は一変する!また東が来たのだ!  
(よし、この東をきつてリーチだつー!)

そう、僕はおバカさんなのである。

まだ秋の風が身にしみるこの頃、わずかに、だが確實に冬は近づいていた

(後書き)

それでもこれはノンフィクション

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0072d/>

---

運命のダブルリーチ

2010年10月21日21時15分発行